

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標評価シート

基本目標		ひと暮らしやすく交流が盛んなまちづくり																															
Plan	具体的な施策の重要業績評価指標（KPI）		指標名			単位	基準値 （平成26年度）		目標値 （平成31年度）		KPI所管課																						
		重要業績評価指標 KPI（1）	合計特殊出生率				0.90		1.40		市民課																						
		重要業績評価指標 KPI（2）	人口移動（社会減）			人/年	300		150		市民課																						
Do	重要業績評価（KPI）の実績値	年度	策定時	H27	H28	H29	H30	H31	単位	補足説明																							
		重要業績評価指標 KPI（1）	0.90	0.93	1.11	1.00	0.86		-																								
		重要業績評価指標 KPI（2）	300	385	245	205	321		人/年																								
		合計特殊出生率 <table><tr><th>年度</th><th>合計特殊出生率</th></tr><tr><td>策定時</td><td>0.90</td></tr><tr><td>H27</td><td>0.93</td></tr><tr><td>H28</td><td>1.11</td></tr><tr><td>H29</td><td>1.00</td></tr><tr><td>H30</td><td>0.86</td></tr></table> 人口移動（社会減） <table><tr><th>年度</th><th>人口移動（社会減）</th></tr><tr><td>策定時</td><td>300</td></tr><tr><td>H27</td><td>385</td></tr><tr><td>H28</td><td>245</td></tr><tr><td>H29</td><td>205</td></tr><tr><td>H30</td><td>321</td></tr></table>										年度	合計特殊出生率	策定時	0.90	H27	0.93	H28	1.11	H29	1.00	H30	0.86	年度	人口移動（社会減）	策定時	300	H27	385	H28	245	H29	205
年度	合計特殊出生率																																
策定時	0.90																																
H27	0.93																																
H28	1.11																																
H29	1.00																																
H30	0.86																																
年度	人口移動（社会減）																																
策定時	300																																
H27	385																																
H28	245																																
H29	205																																
H30	321																																
Check	重要業績評価の達成状況	年度	H27	H28	H29	H30	H31	当該年度の達成状況に関する要因等																									
		重要業績評価指標 KPI（1）	達成率	66.4%	79.3%	71.4%	61.4%	-	婚姻件数の減少や出生時の母の年齢が45歳以上の方が増加しているなどの状況が背景にある。																								
			達成状況評価	C	C	C	C	X																									
		重要業績評価指標 KPI（2）	達成率	39.0%	61.2%	73.2%	46.7%	-																									
達成状況評価	D		C	C	D	X																											
達成率＝重要業績評価指標の実績値÷重要業績評価指標の目標値 達成状況評価 A：既達成（100%以上） B：概ね順調（80%以上100%未満） C：努力が必要（60%以上80%未満） D：あまり順調ではない（60%未満） X：当該年度の実績値なし																																	
Action	今後の課題や改善点等	総合戦略に取り組むにあたっての最重要課題とも言える合計特殊出生率の向上と、社会減の抑制であるが、昨今の社会潮流等の外的要因もあり、厳しいものとなっている。しかし、本数値目標については、総合戦略の取り組みが数年後に成果として現れてくるものとも言える。																															
		総合戦略での政策である「暮らしやすい宇陀市への移住定住の促進強化」、「結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実」・「子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実」等については、今後も課題として取り組んでいく必要がある。																															
策定委員会の意見等		・社会減の抑制に向けては、人口動態の推移における詳細な分析（地域別、男女別、年齢別）から、宇陀市の施策の妥当性を検証することが重要																															

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策評価シート

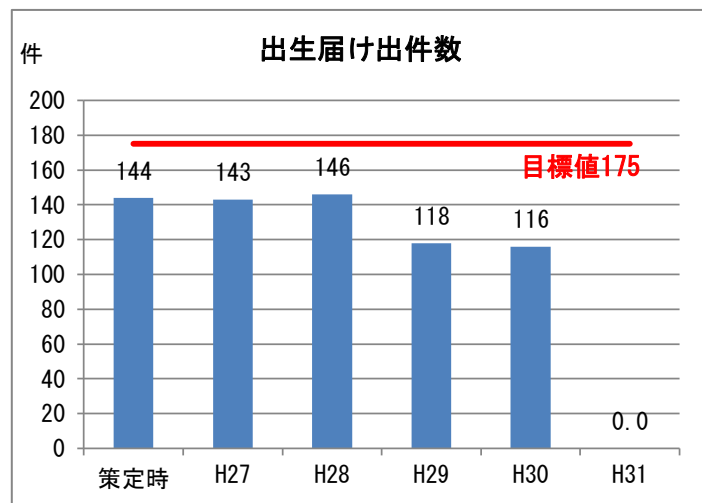
		分野	ひと	政策	1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化																																															
P l a n	具体的な施策		働きながら住み続けられるまちの推進																																																	
	具体的 な 施策 の 重要 業 績 指 標 （ K P I ）		指標名			単位	基準値 （平成26年度）	目標値 （平成31年度）	KPI所管課																																											
		重要業績評価指標 KPI (1)	移住相談件数			件	60	120	まちづくり支援課																																											
		重要業績評価指標 KPI (2)	空き家情報バンク登録件数			件	20	60	まちづくり支援課																																											
		重要業績評価指標 KPI (3)	空き家情報バンク成約数			件	7	50	まちづくり支援課																																											
D o o	重要業績評価（KPI）の実績値	年度	策定時	H27	H28	H29	H30	H31	単位	補足説明																																										
		重要業績評価指標 KPI (1)	60	60	105	86	111	－	件	窓口及び電話による移住相談件数																																										
		重要業績評価指標 KPI (2)	20	20	28	34	27	－	件	市と協定を締結している宅建業者からの申請件数																																										
		重要業績評価指標 KPI (3)	7	10	17	15	16	－	件	年度内における成約件数																																										
	件 移住相談件数 <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr><tr><td>策定時</td><td>60</td></tr><tr><td>H27</td><td>60</td></tr><tr><td>H28</td><td>105</td></tr><tr><td>H29</td><td>86</td></tr><tr><td>H30</td><td>111</td></tr><tr><td>H31</td><td>0.0</td></tr></table> 件 空き家情報バンク登録件数 <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr><tr><td>策定時</td><td>20</td></tr><tr><td>H27</td><td>20</td></tr><tr><td>H28</td><td>28</td></tr><tr><td>H29</td><td>34</td></tr><tr><td>H30</td><td>27</td></tr><tr><td>H31</td><td>0.0</td></tr></table> 件 空き家情報バンク成約数 <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr><tr><td>策定時</td><td>7</td></tr><tr><td>H27</td><td>10</td></tr><tr><td>H28</td><td>17</td></tr><tr><td>H29</td><td>15</td></tr><tr><td>H30</td><td>16</td></tr><tr><td>H31</td><td>0.0</td></tr></table>										年度	実績値	策定時	60	H27	60	H28	105	H29	86	H30	111	H31	0.0	年度	実績値	策定時	20	H27	20	H28	28	H29	34	H30	27	H31	0.0	年度	実績値	策定時	7	H27	10	H28	17	H29	15	H30	16	H31	0.0
	年度	実績値																																																		
	策定時	60																																																		
	H27	60																																																		
	H28	105																																																		
	H29	86																																																		
H30	111																																																			
H31	0.0																																																			
年度	実績値																																																			
策定時	20																																																			
H27	20																																																			
H28	28																																																			
H29	34																																																			
H30	27																																																			
H31	0.0																																																			
年度	実績値																																																			
策定時	7																																																			
H27	10																																																			
H28	17																																																			
H29	15																																																			
H30	16																																																			
H31	0.0																																																			
実施している事業の概要		事業の概要						事業の担当課																																												
	空き家・空き店舗等の活用事業	・改修補助金により、空き家・空き店舗等を商業目的での利活用に繋げる ・起業セミナーの開催や、ＩＣＴ等の積極的な活用により、空き家・空き店舗等の活用に繋げる						まちづくり支援課																																												
	女性のための就業支援事業	・生産年齢人口が減少していく中で、意欲のある女性が活躍できる環境を整備していくことは、労働力確保の観点のみならず、経済を活性化する観点からも不可欠な課題となっている そのため、女性の能力を最大限発揮できるよう、地域の実情に合わせた女性の活躍促進を図るため、就労に向けた支援を行う						人権推進課																																												
	空き家情報バンク事業	・所有者からの物件情報を市と協定を結んだ宅建業者が確認し、市内外の希望者に市HPを通じて情報発信し、空き家の有効活用を図る また、登録者または購入者に対して、家財道具等の処分費補助を行う						まちづくり支援課																																												
	定住促進奨励金交付事業	・市外からのUIJターン者の転入促進と、市民の転出を抑制し定住化を図るとともに、活力ある地域づくりを支援するため、市内での住宅取得者が一定の要件を満たせば定住促進奨励金（市内流通商品券）を交付する						まちづくり支援課																																												
	榛原駅周辺若者定住プロジェクト	県とのまちづくり連携協定等と連携して、公有地・民有地の有効活用も含めたまちづくりを構想する（例：複合図書館・チャレンジショップ・民間デベロッパーやミニ開発等）						まちづくり推進課 他																																												
	子育て世代定住支援事業	・子育て世代（18歳までの子どもがいる世帯）の転入転居を支援するため、定住促進奨励金に加えて、18歳以下の子どもがいる世帯に対して奨励金（市内流通商品券）を交付する						まちづくり支援課																																												
	宇陀の魅力発信事業	・移住・定住の促進に向けて、ＩＣＴ・メディア等の媒体を積極的に活用し、宇陀の魅力を発信する 事業メニュー例：移住者の声を集めた「移住定住ＰＲ冊子」の作成 等						まちづくり支援課																																												
	宇陀市産木材を活用した市営住宅等の建設	・宇陀市産木材を活用した市営住宅等の建設、建替え事業を進め、子育て世代等の定住促進に寄与する						公営住宅課 農林課 他																																												

		年度		H27	H28	H29	H30	H31	当該年度の達成状況に関する要因等
Check	重要業績評価の達成状況	重要業績評価指標 KPI (1)	達成率	50.0%	87.5%	71.7%	92.5%	-	住民間での口コミが広まりつつあり、問合せに繋がっているとの情報を得ている。
			達成状況評価	D	B	C	B	X	
		重要業績評価指標 KPI (2)	達成率	33.3%	46.7%	56.7%	45.0%	-	宅建業者を介している（売買に耐えられる物件が対象）ため、そもそもの物件に限られるほか、個人の財産を貸すという意識が浸透していないことも背景にあると思われる。
			達成状況評価	D	D	D	D	X	
		重要業績評価指標 KPI (3)	達成率	20.0%	34.0%	30.0%	32.0%	-	宅建業者を介している（売買に耐えられる物件が対象）ため、そもそもの物件に限られるほか、個人の財産を貸すという意識が浸透していないことも背景にあると思われる。
			達成状況評価	D	D	D	D	X	
達成率＝重要業績評価指標の実績値÷重要業績評価指標の目標値 達成状況評価 A：既達成（100%以上） B：概ね順調（80%以上100%未満） C：努力が必要（60%以上80%未満） D：あまり順調ではない（60%未満） X：当該年度の実績値なし									
Action	今後の課題や改善点等	移住相談件数については、総合戦略取り組み時と比べ、約倍増しており、宇陀市への移住に対する興味が高まっていることが窺える。環境が良く災害も少なく不便さを感じさせない等の声もあがっており、今後は、相談から実際に移住に繋がられるように、些細な相談でも耳を傾けていく。 空き家情報バンクの登録においては、不動産業者との連絡調整がうまく機能した（提携業者を1社増やしている）。また、登録件数を増やすため、税務課との協力により、県外在住者に固定資産税納税通知書に空き家情報バンクのチラシを封入している。今後空き家が増えてくると言われている中で、まちづくり協議会等の様々な組織と連携し、空き家対策に講じていきたい。 空き家情報バンクの成約件数についても、相談件数は一定数となっているが、成約に繋がられていない。今後の方策を検討する必要がある。							
		・空き家空き店舗事業における起業家への対策により、宇陀市への移住・定住を促すことも必要。また、家族揃っての転入により、子どもの増加も見込めるのではないかな。							
策定委員会の意見等									

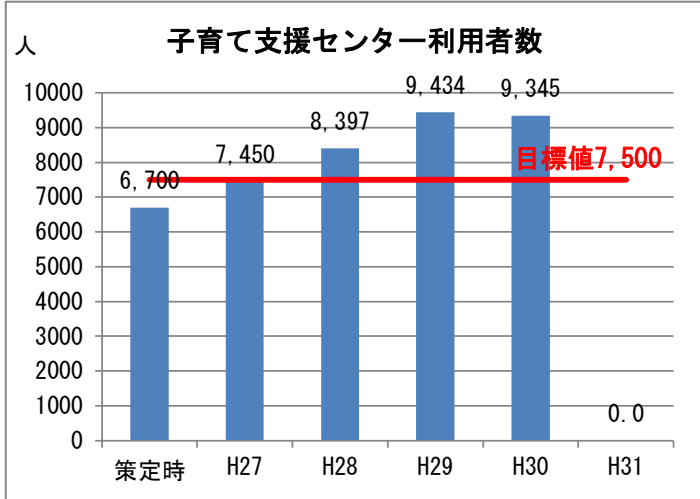
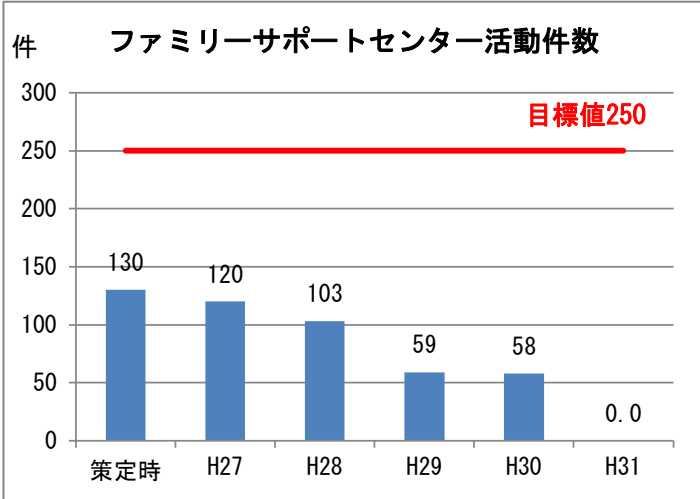
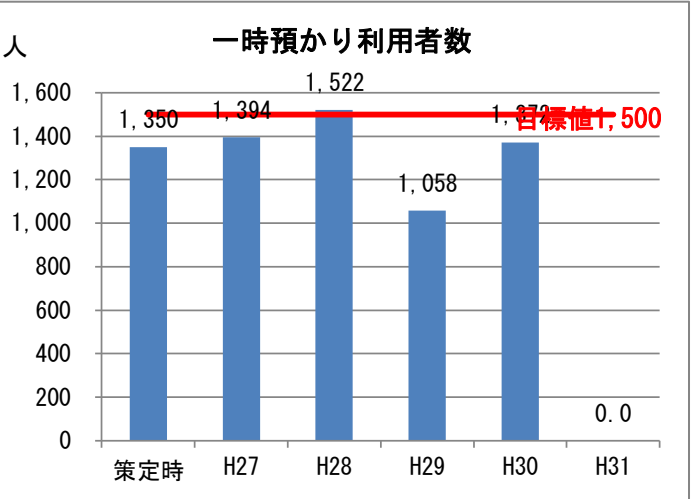
宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策評価シート

	分野	ひと	政策	2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実								
P l a n n	具体的な施策		婚活支援イベント等の充実									
	評価指標 (KPI)		指標名			単位	基準値 (平成26年度)		目標値 (平成31年度)		KPI所管課	
		重要業績評価指標 KPI(1)	婚活イベント成婚者数【累計】			組	1		10		まちづくり支援課	
D o c u m e n t	重要業績評価 (KPI)の実績値	年度	策定時	H27	H28	H29	H30	H31	単位	補足説明		
		重要業績評価指標 KPI(1)	1	1	1	1	1	-	組	当市の婚活イベントにてカップル成立された方で成婚された組数		
		組 婚活イベント成婚者数【累計】 目標値10 1 1 1 1 1 0 策定時H27H28H29H30H31										
C h e c k	実施している事業の概要		事業の概要							事業の担当課		
		同窓会開催補助事業 (アタック25)	・同窓会を通じて故郷宇陀市を再認識し、同世代のネットワークの形成を目指し、再会による出会いの場を創出するために、同窓会の開催に対して補助を行う							まちづくり支援課		
		結婚支援事業 ～宇陀カップリングパーティー～	・結婚支援イベントを開催し、カップルの成立と市内で住む夫婦の増加を目指す							まちづくり支援課		
C h e c k	重要業績評価の達成状況	年度	H27	H28	H29	H30	H31	当該年度の達成状況に関する要因等				
		重要業績評価指標 KPI(1)	達成率	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	-	成婚の際の支援金事業で数を把握しており、正確な実態やカップルの成立までは把握しきれていない。			
			達成状況評価	D	D	D	D	X				
達成率＝重要業績評価指標の実績値÷重要業績評価指標の目標値 達成状況評価 A：既達成（100%以上） B：概ね順調（80%以上100%未満） C：努力が必要（60%以上80%未満） D：あまり順調ではない（60%未満） X：当該年度の実績値なし												
A c t i o n	今後の課題や改善点等	同窓会開催補助事業においては、同窓会の開催数が少なかったこともあり、参加者は30名程度であった。同窓会としての再会による出会いの場を創出するとともに、宇陀市の郷土愛の醸成により、Uターンを考える第1歩にも繋げていきたい。										
		結婚支援事業においては、市民の参加率が20%台と低く、特に女性の参加が少ない現状がある。主催者との話し合いを密にし、対策を検討する。今後は、開催団体を2団体から4団体に増やすことになるので、引き続き情報発信に努め、婚約数や出生数が減少している中で、行政として可能な範囲での支援をしていく。										
策定委員会の意見等		・特に意見なし										

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策評価シート

		分野	ひと	政策	2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実										
Plan	具体的な施策		誰もが子どもを産みやすい環境の充実												
	具体的な施策（KPI）の重要業績		指標名			単位	基準値 （平成26年度）		目標値 （平成31年度）		KPI所管課				
		重要業績評価指標 KPI（1）	出生届け出件数			件	144		175		市民課				
OOD	重要業績評価（KPI）の実績値	年度	策定時	H27	H28	H29	H30	H31	単位	補足説明					
		重要業績評価指標 KPI（1）	144	143	146	118	116	-	件						
															
実施している事業の概要		事業の概要								事業の担当課					
	出産祝い金支給事業	・新生児の誕生日を祝い、健やかな成長を願って祝いの品（市内流通商品券）を贈る								こども未来課					
	一般不妊治療助成事業	・一般不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊治療を行っている市民の経済的負担を軽減させ、出生を促し、若年層の定住促進に繋げる								健康増進課					
Check	重要業績評価の達成状況	年度	H27	H28	H29	H30	H31	当該年度の達成状況に関する要因等							
		重要業績評価指標 KPI（1）	達成率	81.7%	83.4%	67.4%	66.3%	-	人口減少に伴い、出生数も減少している。生産年齢人口の減少も大きく影響しており、様々な要因が絡み合っている。						
			達成状況 評価	B	B	C	C	X							
達成率＝重要業績評価指標の実績値÷重要業績評価指標の目標値 達成状況評価 A：既達成（100%以上） B：概ね順調（80%以上100%未満） C：努力が必要（60%以上80%未満） D：あまり順調ではない（60%未満） X：当該年度の実績値なし															
Action	今後の課題や改善点等	出生数については、令和元年度の4～6月までの出生数が、21人となっており、今年度には100人を下回る可能性もある。減少していくことについては、一筋縄では解決できるものではないが、子どもを産みやすい環境作りをはじめ、様々な施策を講じていく。 具体的な事業としてあがっている出産祝い金支給事業については、申請者に対して速やかに給付できており、今後も子育て世代の経済的負担の軽減と定着促進を図る。一般不妊治療助成事業については、平成29年度の20人に比べ減少した。今後は不育症も含めて啓発していく。													
		・合計特殊出生率については、どうして減少していくのか疑問に思う。転入・転出についても、年齢別での整理をしているが、男女別に見ていけば、なんとなく分かってくる部分もあると思う。													
策定委員会の意見等															

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策評価シート

分野		ひと	政策		2. 結婚・出産・子育てでの切れ目のない支援の充実						
P l a n	具体的な施策		子育て支援の充実								
			指標名		単位	基準値 (平成26年度)		目標値 (平成31年度)		KPI所管課	
	重要業績評価指標 KPI (1)		子育て支援センター利用者数		人	6,700		7,500		こども未来課	
	重要業績評価指標 KPI (2)		ファミリーサポートセンター活動件数		件	130		250		こども未来課	
	重要業績評価指標 KPI (3)		一時預かり利用者数		人	1,350		1,500		こども未来課	
D o o	重要業績評価 (KPI) の実績値	年度	策定時	H27	H28	H29	H30	H31	単位	補足説明	
		重要業績評価指標 KPI (1)	6,700	7,450	8,397	9,434	9,345	-	人	子育て支援センターにおける実績	
		重要業績評価指標 KPI (2)	130	120	103	59	58	-	件	サポーター派遣回数58件 (派遣総数143名)	
		重要業績評価指標 KPI (3)	1,350	1,394	1,522	1,058	1,372	-	人	市内保育園（所）、こども園における一時的な保育の実績	
		人 子育て支援センター利用者数  件 ファミリーサポートセンター活動件数  人 一時預かり利用者数 									
	実施している事業の概要		事業の概要							事業の担当課	
		便利な田舎～宇陀のレシピア事業～	■こんにちは赤ちゃん訪問事業 ・生後4ヶ月までの乳児がいるすべての家庭に、助産師もしくは保健師が訪問し、育児や子育て支援についての相談を行う ■ファーストバースデー祝い品事業 ・子どもの1歳の誕生日を祝い、絵本を介した親子のふれあい及び幼児期から本に親しむ習慣が生まれるよう絵本を贈る ■ベビーシート貸与事業 ・新生児から6ヶ月未満の乳児を保護擁護している方を対象にベビーシートを貸与し、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減させる ■ぴかぴか1年生応援事業 ・子育て世帯による教育支援として、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、小学校及び中学校入学を迎える家庭に市内流通商品券を贈る ■トリプルチルドレン事業 ・多子世帯による子育て・教育支援として、子どもの生活の安定や福祉の増進を図るため、多子世帯家庭に市内流通商品券を贈る							こども未来課	
		ファミリーサポートセンター事業	・育児のしやすい子育て家庭に向け、子育てを地域で相互援助し、安心して子どもを産み育てることができる支援を行う							こども未来課	
		子どもに育てられる地域づくり～地域子育てサポート事業～	・まちづくり協議会等が中心となり、育児のしやすい地域づくりと地域の子どもの体験事業を通じ地域間の交流と学びの場を提供する							-	
		病後児保育事業	・子どもが病気の回復期にあり、保育所等が利用できず、保護者も就労等で保育できない場合の保育を行う							こども未来課	
		一時預かり事業	・保護者の私用等により一時的に家庭で保育ができない場合、一時的に保育を行う							こども未来課	

Check	年度		52. 50%	63%	162%	H30	H31	当該年度の達成状況に関する要因等	
	重要業績評価指標 KPI (1)	達成率	99. 3%	112. 0%	125. 8%	124. 6%	-	本年4月実施の『子育て支援に関するニーズ調査』結果では、子育て支援センターの利用満足度は非常に高く、利用者の利用頻度も高いことが要因	
		達成状況 評価	B	A	A	A	X		
	重要業績評価指標 KPI (2)	達成率	48. 0%	41. 2%	23. 6%	23. 2%	-	各種事業において、ファミリーサポート事業の案内は行っているものの、まだまだ他人に預けるという抵抗があり、家族や知人に預けるケースが多いことが要因	
		達成状況 評価	D	D	D	D	X		
	重要業績評価指標 KPI (3)	達成率	92. 9%	101. 5%	70. 5%	91. 5%	-	本年4月実施の『子育て支援に関するニーズ調査』結果では、就労している母親の割合が7割となり、こども園等に預ける家庭が多い。又、近年の少子化に伴い未就園児が少なくなったことが要因	
		達成状況 評価	B	A	C	B	X		
	達成率＝重要業績評価指標の実績値÷重要業績評価指標の目標値 達成状況評価 A：既達成（100％以上） B：概ね順調（80％以上100％未満） C：努力が必要（60％以上80％未満） D：あまり順調ではない（60％未満） X：当該年度の実績値なし								
	Action	今後の課題や改善点等	子育て支援センターについては、すこやかルームでは5， 3 0 8 人、つどいの広場（出前保育）では5 3 1 人の住民に利用されており、今後も地域の子育ての支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。						
			ファミリーサポートセンター事業については、サポーター派遣回数5 8 件（派遣総数1 4 3 名）となっており、今後も支援の必要な家庭に適切なサービスを提供していく。						
一時保育事業については、多様化する保育需要に対応するため、断続的又は緊急若しくは一時的に保育を必要とする児童に対し、一時的な保育を実施していく。なお、今後の継続的な事業実施においては保育士の確保が必要になると思われる。									
策定委員会の意見等		・ 特に意見なし							

・特に意見なし

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策評価シート

	分野	ひと	政策	3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実								
P l a n	具体的な施策		夢を育む教育環境の充実									
	具体的 な 施策 の 重要 業績 評価 指標 (KPI)		指標名		単位	基準値 (平成26年度)		目標値 (平成31年度)		KPI所管課		
		重要業績評価指標 KPI (1)	預かり保育利用者数		人	5,000		6,000		こども未来課		
		重要業績評価指標 KPI (2)	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「自分の良い所」(小学生)		%	67.6		80.2		教育総務課		
		重要業績評価指標 KPI (3)	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「将来の夢や目標」(小学生)		%	83.6		92.0		教育総務課		
		重要業績評価指標 KPI (4)	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「地域の行事参加」(小学生)		%	75.3		76.1		教育総務課		
		重要業績評価指標 KPI (5)	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「自分の良い所」(中学生)		%	54.2		67.3		教育総務課		
		重要業績評価指標 KPI (6)	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「将来の夢や目標」(中学生)		%	66.8		74.1		教育総務課		
		重要業績評価指標 KPI (7)	自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「地域の行事参加」(中学生)		%	42.9		55.2		教育総務課		
D o o	重要業績評価（KPI）の実績値	年度	策定時	H27	H28	H29	H30	H31	単位	補足説明		
		重要業績評価指標 KPI (1)	5,000	5,703	4,869	5,063	4,790		人	市内幼稚園・こども園の実績による。		
		重要業績評価指標 KPI (2)	67.6	75.2	67.6	71.4	75.3	-	%	全国学力学習状況調査の結果による。		
		重要業績評価指標 KPI (3)	83.6	87.0	86.7	87.3	79.0	-	%	全国学力学習状況調査の結果による。		
		重要業績評価指標 KPI (4)	75.3	71.1	77.1	63.9	68.2	-	%	全国学力学習状況調査の結果による。		
		重要業績評価指標 KPI (5)	54.2	62.3	62.6	69.7	76.2	-	%	全国学力学習状況調査の結果による。		
		重要業績評価指標 KPI (6)	66.8	69.1	62.2	66.5	72.5	-	%	全国学力学習状況調査の結果による。		
		重要業績評価指標 KPI (7)	42.9	50.2	45.9	35.7	47.0	-	%	全国学力学習状況調査の結果による。		
	人 7000 6000 5000 4000 3000 2000 1000 0 策定時 H27 H28 H29 H30 H31 5,000 5,703 4,869 5,063 4,790 目標値6,000 % 100 80 60 40 20 0 策定時 H27 H28 H29 H30 H31 67.6 75.2 67.6 71.4 75.3 0.0 目標値80.2 % 100 80 60 40 20 0 策定時 H27 H28 H29 H30 H31 83.6 87.0 86.7 87.3 79.0 0.0 目標値92.0 % 100 80 60 40 20 0 策定時 H27 H28 H29 H30 H31 75.3 71.1 77.1 63.9 68.2 0.0 目標値76.1											
	% 100 80 60 40 20 0 策定時 H27 H28 H29 H30 H31 54.2 62.3 62.6 69.7 76.2 0.0 目標値67.3 % 80 70 60 50 40 30 20 10 0 策定時 H27 H28 H29 H30 H31 66.8 69.1 62.2 66.5 72.5 0.0 目標値74.1 % 60 50 40 30 20 10 0 策定時 H27 H28 H29 H30 H31 42.9 50.2 45.9 35.7 47.0 0.0 目標値55.2											
	実施している事業の概要		事業の概要								事業の担当課	
		幼児教育環境充実事業	■ライブラリー・チャイルドレン事業 ・運動用具の整備や音楽用具の整備を行い、それらの活動を行うことで、子どもたちの能力向上を図る ■預かり保育事業 ・通常の幼稚園・こども園教育時間の終了後預かり保育を行う ■臨床心理士の配置 ・福祉、教育分野での専門的知識をもった心理士を配置し、特別支援児童に対して幼児期からの早期対応に努める ■幼児教育専門員の派遣 ・宇陀市幼児教育を特色あるものとする為、専門的知識をもった講師を招き、園児及び職員の指導を行い、次代を担う子どもの育成と幼児教育の質の向上を目指す								こども未来課・教育総務課	
		英語教育推進事業	・すべての小・中学校にALTを配置・派遣することでさらなる英語教育の充実を目指す ・幼稚園・保育所・こども園、小学校、中学校にALTを配置・派遣することで、幼稚園等、小学校、中学校との連携がとれ、外国語活動教育の充実、児童、生徒の英語力の向上につなげる ・現代社会において重要な国際感覚を身につけられる教育環境を整えることにより、言語や文化について体験的に理解を深めさせる ・すべての小学校にオンラインスピーキングシステムを導入し、6年生を対象にネイティブスピーカーとの対話授業を実施することにより、実践的なスピーキング力・リスニング力を向上させる								教育総務課	
		子どもの夢を育てる「夢教室」事業	・「夢の教室」を開催し、夢を持つことの大切さ、なかまと協力することの大切さ、フェアプレー精神の大切さを児童に伝える								教育総務課	
		放課後学習支援事業	・退職教職員や教員志望の大学生など教育分野の知見のある人材により放課後等に補習や発展的な学習への対応を行う ・放課後の学習機会を確保し、学習意欲・規範意識の向上を図り、学力向上につなげていく								教育総務課	
		学びの広場UDAプラン・学力向上推進事業	・宇陀市内の幼保園・小中学校の教職員を対象に、学力向上の研修会や公開事業の実践等を行うことで、職員一人ひとりの自己肯定感や自信を育み、保育内容や授業改善、教職員の指導力向上、学校・園の教育の充実を図るとともに、ICT等の活用により児童生徒の学力向上を図る								教育総務課	

%

自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「自分の良い所」(小学生)

100

80

60

40

20

0

策定時

H27

H28

H29

H30

H31

67.6

75.2

67.6

71.4

75.3

0.0

目標値80.2

%

自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「将来の夢や目標」(小学生)

100

80

60

40

20

0

策定時

H27

H28

H29

H30

H31

83.6

87.0

86.7

87.3

79.0

0.0

目標値92.0

%

自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「地域の行事参加」(小学生)

100

80

60

40

20

0

策定時

H27

H28

H29

H30

H31

75.3

71.1

77.1

63.9

68.2

0.0

目標値76.1

%

自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「自分の良い所」(中学生)

100

80

60

40

20

0

策定時

H27

H28

H29

H30

H31

54.2

62.3

62.6

69.7

76.2

0.0

目標値67.3

%

自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「将来の夢や目標」(中学生)

80

70

60

50

40

30

20

10

0

策定時

H27

H28

H29

H30

H31

66.8

69.1

62.2

66.5

72.5

0.0

目標値74.1

%

自尊意識・地域とのかかわり等を肯定的に答えた児童生徒の割合「地域の行事参加」(中学生)

60

50

40

30

20

10

0

策定時

H27

H28

H29

H30

H31

42.9

50.2

45.9

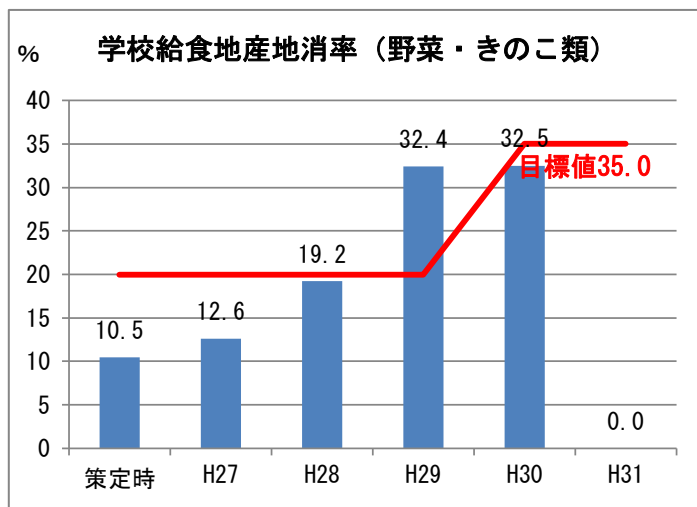
35.7

47.0

0.0

目標値55.2

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略 施策評価シート

	分野	ひと	政策	3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実							
P l a n	具体的な施策		元気な子どもづくりの推進								
	具体的な施策の重要業績評価指標（KPI）		指標名		単位	基準値 （平成26年度）		目標値 （平成31年度）		KPI所管課	
		重要業績評価指標 KPI (1)	学校給食地産地消率（野菜・きのこ類）		%	10.5		35.0		学校給食センター	
D o o	重要業績評価（KPI）の実績値	年度	策定時	H27	H28	H29	H30	H31	単位	補足説明	
		重要業績評価指標 KPI (1)	10.5	12.6	19.2	32.4	32.5	-	%		
		学校給食地産地消率（野菜・きのこ類） 									
D o o	実施している事業の概要		事業の概要							事業の担当課	
		学校給食地産地消促進事業	・学校給食での地産地消を促進し、新鮮で美味しい地場産給食を目指して、関係機関や農産物直売所と連携した仕組みづくりを目指す							学校給食センター	
		うだ子ども元気づくりプロジェクト事業	・「子どもの体力向上」を目指し、運動による脳への刺激により、心身共に成長させ、幼児の体力向上に努める							こども未来課	
		平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト事業	・「子供のもり活性化協会」を中心に事業を企画運営し、より一層の充実を図り市内外からの来場者を増やし宇陀市の魅力を体感してもらうことを目指す 事業メニュー例①：既存事業の充実（カヌー教室や石窯教室の拡大） 事業メニュー例②：四季それぞれの子供のもり公園の魅力を体感（子供のもりでかくれんぼ夏・冬の開催） 事業メニュー例③：市民や各種団体との連携（まちづくり協議会や学校等の協力、ボランティアを募ることによる事業の推進）							公園課	
		子どもフェスタ事業	・「子どもフェスタ」を開催し、遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う子どもたちの健全育成に努める							生涯学習課	
C h e c k	重要業績評価の達成状況	年度	H27	H28	H29	H30	H31	当該年度の達成状況に関する要因等			
		重要業績評価指標 KPI (1)	達成率	52.5%	63.0%	162.0%	92.9%	-	積極的な地産地消を図っており、納品してくれる生産者は増加している。一方で、作況は、天候などの外的要因が大きく影響してくる。		
			達成状況評価	D	C	A	B	X			
達成率＝重要業績評価指標の実績値÷重要業績評価指標の目標値 達成状況評価 A：既達成（100%以上） B：概ね順調（80%以上100%未満） C：努力が必要（60%以上80%未満） D：あまり順調ではない（60%未満） X：当該年度の実績値なし											
A c t i o n	今後の課題や改善点等	平成30年度に、独自に目標値を20%から35%に上方修正して取り組んできた。平成29・30年度と2年続けて32%を超えており、上方修正した目標値までは届かなかったが、概ね順調に推移している。 地方創生総合事業費を活用し、市内産の野菜を積極的に購入し、地産地消率の向上を図っているが、生産者の協力なしでは達成できない。納品してくれる生産者は増加しているが、作況は、天候などの外的要因が大きく影響してくる。 今後も、学校給食での地産地消を促進し、新鮮で美味しい地場産給食から元気な子どもづくりの推進に繋げていく。									
		・特に意見なし									
策定委員会の意見等		・特に意見なし									